



制作した9人。参観日には保護者らにも披露した

### 30色のチョークで彩る9人の思い出 部設立3年目、引退記念の黒板アート

中学校部活動の拠点校化に合わせて、6年度から美術部が新設されています。このたび同部に所属する3年生が、引退の前に黒板アートを制作しました。描いたのは、花札から飛び出すツルの姿。「新しい一歩を踏み出そう」という思いが込められています。生徒らは「羽のグラデーションなどこだわりが満載。見た人にも未来へ羽ばたく勇気を持ってもらえたら」と笑顔で話しました。



記念事業への感謝状を受け取る城戸会長

### 地域と歩んだ60年、奉仕の心を未来へ 内子ライオンズクラブが節目

内子ライオンズクラブが創立60周年を迎え、記念式典が6月14日に開かれました。同クラブは環境美化活動や青少年海外派遣事業への協力など、幅広く活動に取り組んでいます。式典では長期在籍会員表彰の他、記念事業として坂町ひろばに設置した屋根付き観光案内板の目録贈呈などが行われました。城戸彰会長は「地域のため、できることを積極的に担っていきたい」と語りました。



1\_ソフトテニス女子の試合。息の合ったプレーで得点を狙う  
2\_ディフェンスを振り切ってゴールに手を伸ばす(バスケットボール女子)  
3\_攻めの姿勢で面を打ち込んだ剣道男子  
4\_試合前、全員で声出しを行い士気を高める軟式野球部

### 県大会出場を目指して真剣勝負 一丸となり挑んだ「市郡中学校体育大会」

「第22回大洲市喜多郡中学校体育大会」が6月2～4日に行われました。今年度から全ての部活動が拠点校化され、4校で学校の枠を超えたチームを編成。11競技に出場し、県大会への切符をかけて熱戦を繰り広げました。団体競技では、剣道男子・女子、ソフトテニス男子が県大会への出場を決めています。

剣道は2日、内子東自治センターで行われました。男子は大洲北中と大和剣友会(大洲市)、女子は大洲北中と対戦し、それぞれ勝利。黒田笑里さん(小田中2年)は「普段の練習から『一本一本大切に』と心がけている。本番では勝ち負けより、全力を出そうと意識。面が上手に打てた時は気持ちよかった」と笑顔で話しました。

ソフトテニス男子は3日、八幡浜・大洲地区運動公園で開催。一回戦で大洲南中を2セット先取で制し、決勝では肱東中と対戦しました。主将の織田蒼晴さん(内子中3年)は「応援の声に支えられ、苦しい場面も乗り越えられた。県大会ではそれぞれの持ち味を生かして、プレーでみんなを沸かせたい」と意気込みました。

### 歌って、舞って、奏でて—— 文化協会支部の「芸能発表会」

内子町文化協会の芸能発表会が共生館で開かれ、五十崎支部(新本邦彦支部長)は5月31日、内子支部(城戸英支部長)は6月7日に練習の成果を披露しました。

「第46回五十崎芸能発表会」は、町内中学校の吹奏楽部による演奏で開幕。続いて協会に所属する9団体・延べ約150人が出演しました。和太鼓集団「和達」は力強い太鼓の音色で観客を魅了。ダンスクラブ「真美19R Dance」の子どもたちは、元気いっぱいのパフォーマンスで注目を集めます。また館内では盆栽展示や恒例のお楽しみ抽選会も実施され、イベントに彩りを添えました。

内子支部の「合同芸能発表会」には13団体・延べ約70人が出演。日本舞踊や剣詩舞には小・中学生も出演しており、ベテランに負けない堂々とした演技に注目が集まります。「若いのにすごい」「立派だね」と称賛の声も上がりました。また三味線や伊予万歳、吟詠、コーラスなども披露され、観客はさまざまな演目を楽しんだ様子。手拍子をして盛り上がる場面もあり、会場全体が温かな一体感に包まれていました。



(五十崎支部) 左\_吹奏楽団ウィンドアンサンブルカイツの演奏 右\_美しい着物を身にまとい、日本舞踊を披露



(内子支部) 左\_真剣な表情で剣詩舞を演じる 右\_息の合った三味線の音色、美しい歌声を響かせる

### 子どもたちの安全を守る、地域の技術者たち 建設業組合による施設修繕を実施

内子町建設業組合による施設修繕ボランティア事業が6月6日に行われました。小・中学校などを対象に毎年実施しているもので、工務店や左官、鉄工所など31事業者が参加。専門技術を生かして扉や椅子の修理、柵の設置などを行いました。五十崎小学校の山本孝江校長は「傷んでいた雲梯や手すりも、プロのおかげで安全に使えるようになった。本当にありがたい」と感謝を述べました。



五十崎こども園でブランコの塗装作業をする組合員たち

### 全国の社会人落語家が内子で共演 地域色添えた話芸も披露

「元祖内子 the 落語まつり」が6月13日、みのり会館で開催されました。開演前には鑑賞マナーを「あいうえお作文」で紹介し、会場を笑いの世界へ引き込みます。口演では内子町在住の六ツ家青柳さんをはじめ6人が高座へ上がり、『ねずみ』や『ちりとてちん芸者』などの演目を熱演。「内子の酒を買ってきた」と内容をアレンジした話も披露され、会場は終始笑い声に包まれていました。



高座から巧みな話術を繰り広げた、団子家みたらしさん